

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	Y M C A さんかく		
○保護者評価実施期間	2025年7月25日		～ 2025年9月13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 10
○従業者評価実施期間	2025年9月22日		～ 2025年9月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 11
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月23日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	子どもの興味関心に沿ったプログラムになるよう、子どもの声に耳を傾け、プログラムの工夫をしている。またニーズに沿ったプログラムになるよう個々の支援計画をふまえて、検討、立案している。	引き続き子どもの興味関心や情報収集に、耳を傾け、個々のニーズを大切にしていく。
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切である	十分な職員配置をしており、安全と配慮につとめている	職員間の風通しを、引き続き意識していく。
3	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っている	送迎がない事業所という弱みでもあるが、保護者と毎回お話しできることを大切に、日々の療育をおこなっている	保護者が必要としている情報をお伝えできるよう、引き続き職員の研鑽をはかっていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えている	連携がとり切れていない面もある。	体制の調整ができるよう、検討していく
2	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	連携がとり切れていない面もある。	体制の調整ができるよう、検討していく
3	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っている	ペアレントトレーニングまではできていない	ペアレントトレーニングにも取り組めるよう計画していく